



あなたと人のコミュニケーション情報誌

夢広がる なかしべつ

Vol.376



第53回 女性部通常総会

2006.3.23

INDEX / 目次

第53回女性部通常総会・女性部研修会... 2~3
組合長雑感... 4
平成18年度 酪農関連対策について ... 5
我が家の人気者 田中かおるちゃん(武佐)... 6
青年部のページ 青年部反省会、青年大学... 7
熟年会・春期研修旅行・田中マツノさん記す ... 8
ニュージーランド酪農視察研修報告 ... 9~12
普及の窓「草地管理から行う生産コスト低減対策」...13
新人・退職員紹介、理事会報告...14
指導農業士に上村重光氏・西崎敬造氏 ...15
掲示板 コープさっぽろ農業賞、ミルク・チーズフェア、加工部会伝達研修会、知ってJ A、クロスワードパズル...15~17



中標津町農業協同組合



女性部の ページ



3月23日、農協大会議室にて「JA中標津女性部第53回通常総会」が行われ新体制による女性部活動がスタートしました。

開会にあたり井口五子部長の挨拶の後、JA中標津・藤井美智夫副組合長、JA中標津青年部・中本信幸副部長よりご祝辞をいただき、総会出席者74人、委任状57人のもと、第2俣落地区・藤井直雄さん、俣橋地区・大西歌織さんが議長に選出され、議事が進められました。

平成17年度事業・収支報告、平成18年度事業収支計画案、会費賦課徴収方法、規約の改正について、また役員改選年に伴い、役員選考委員会の推薦による新三役員について全て原案通り承認され、北根室地区農業改良普及センター・広瀬勉所長の万歳三唱で終了しました。



新たな第53回事業年度が新役員体制のもと行われていきます。時代と人・地域に合わせ、生活に根ざした、女性ならではの能力や感性を生かし、より多くの仲間と共に一丸となって運営する女性部組織づくりを目指した活動が展開されるのが期待されます。

組織の充実を目指して!!



また、井口前部長のあいさつにあったように、今年度は、牛乳の生産調整という、酪農家組合員にとって、不安を抱かざるを得ない一年になりましたが、この逆風を女性部ならではの視点で細やかに消費者へのPR、大きな消費拡大運動へ変えていきましょう。

【新三役員】

部長

長正路 八世栄(当 幌)

副部長

松田 幸子(当 幌)

副部長

名越 静枝(俵 橋)

監事

藤田 登美子(俵 落)

監事

児玉 徳美(武 佐)

監事

萩原 裕巳(第2俵落)

総会終了後、女性部研修会として、町内在住、真鍋均整治療院の真鍋近院長を講師に迎え、「簡単！身体の痛みを和らげる方法」ストレッチをしながら貯筋(ちよきん)しよう」と題して筋肉や関節の柔軟性を失わないことが体の状態を若く保つ秘訣であるとのこと説明をていねいにご講演いただきました。

女性の筋肉量は、男性に比べて、もともと少ないうえに、加齢とともに減少していきます。また、組合員さんは、ほとんど休みのない中で作業し、疲労が貯まったまま回復できず、筋肉や関節が悲鳴を上げそうな状態で生活している方も多く、痛みに伴う不快感を悩みとして抱えていることもしばしばです。

次の世代に交替して、さあこれから自分のための時間を！



余暇を楽しもう！という頃に身体の痛みや病気・不快な症状で何もできない状態にならないように、今から準備をはじめ、将来楽しく活発な人生を過ごせるようにまずは貯筋を！！



新役員体制のもと、
多くの仲間と共に更なる

組合長 雑感

年度末に思う

代表理事組合長 高橋勝義

日一日と春の陽ざしが感じられ、積雪もずいぶん減り季節感を肌で感じる今日この頃であります。

組合員の皆様におかれましても、長い冬期間が過ぎようとしている今、例年と違った思いで新年度から始まる取り組みに不安と不満が入り乱れていることとご推察申し上げます。

年末年始より今日まで、生乳にかかわる展開が、予想を超える事態に迫られ、四苦八苦しておりますと言うのが正直な心境であります。

3月単月で1万トン緊急抑止対策の対応についても早急な協力を求め、早期乾乳による生産量の調整をやむなく実施していただき、何とか達成する見通しであります。有難うございました。

しかしながら、4月以降も状況が改善されず、予断を許さない生乳処理環境が続くとの見方が強く示されており

ます。よって、今後新たな対策が必要になつてくるのが想定され、危惧する一方、生産者にも今の状態を受け止めていただきたく、情報をしっかりとお伝えして参る責任があると肝に銘じております。

4月よりスタートするA・Bタイプ選択方式が、全道で決定しました。生産調整とは言え「厳しい」の一言につきます。個別の割り当て乳量については、6月になるかと思いますが、4月から年間を見通しながら早い時期からの対応をお願いするしだいです。

指定団体であるホクレンを初め、関係団体組織には必死の消費拡大の実行を強く求めていく所存であります。

過日、地区別懇談会の席上でも、数多くのご意見をいただき、改めて身の引き締まる思いであります。

さて、農協事業でありますが決算を

迎える中、例年に比較すると各事業も様々な影響を受け好決算とまでいかない予想をしております。

しかし、今までJA中標津が築き上げてきた実績、信頼、安心を持ってご支援いただけるよう、より一層、努力させていただき、確固たる地位を堅持して参りたく、より以上のご指導、ご厚情を切にお願いするしだいであります。

どうか組合員家族の皆様には、今一度、この事態に対して冷静に対処していただき、経営の「ムリ、ムダ、ムラ」を点検する機会と捕らえて、この一年、乗り切っていたいただきたいと意を強くしております。

まもなくこの地にも新緑、桜前線も北上し春一番を迎えます。一日も早く本当の意味で心から喜べる季節が来ることを念じて思いの一端と致します。

加工原料乳生産者補給金単価並びに 限度数量などが決まりました

平成18年度 畜産物価格関連対策の概要

1 生乳・乳製品の 需給安定対策 (約155億円)

(1) 需要の伸びが見込まれる乳製品の生産拡大への支援

需要の伸びが見込まれるチーズ、液状乳製品（生クリーム等）及びはっ酵乳向け生乳の供給を拡大する生産者に対し奨励金を交付する。

(2) その他

ゆとりある酪農経営の実現を図るため、酪農ヘルパー要員の確保・養成、病気・事故に際しての酪農ヘルパー利用の円滑化のための互助制度に対する助成を行うとともに、酪農ヘルパーの利用拡大のため、酪農経営に対し、拡大した利用日数に応じた助成金を交付する。

2 自給飼料生産対策 (約66億円)

(1) 飼料基盤に立脚した環境調和型酪農経営への支援対策の創設

環境と調和した酪農経営の確立に資するため、環境保全、飼料自給率の向上に資する取り組みを実践している生産者に対し、飼料作物作付面積に応じた奨励金を交付する。

(2) コントラクターへの支援、草地生産性向上対策の継続

地域の飼料生産の中核を担い得るコントラクターを育成するため、一定以上の受託面積を有する等の要件を満たす組織を対象として、受託面積に応じ助成をする。

自給飼料生産基盤の拡大及び草地畜産の普及を推進するため、環境に配慮した生産性の高い高位生産草地への転換、公共牧場等を活用した放牧の取り組み、環境保全と良質な畜産物生産を目指す草地畜産普及等に対し助成する。

3 環境対策 (約127億円)

(1) 1 / 2 補助付きリース事業の継続

（17～19年度の3年間で計画的に施設整備を推進）

簡易な措置により家畜排せつ物法管理基準に対応した農家等について、環境負荷の低減や資源循環の促進を図るため、引き続き家畜排せつ物処理施設の整備を支援する。

(2) たい肥の利活用の推進への支援の継続

たい肥利用を促進するため、JA等が行う地域のモデル的なたい肥利用の取り組みに支援するとともに、技術面での指導体制の強化を行う。

4 乳用牛対策 (約8億円)

(1) 乳用牛の遺伝的能力向上の推進と改良集団への支援の継続

効率的乳用牛改良のための地域段階での取り組みの推進、優良な遺伝資源の確保による乳用牛の遺伝的能力の向上、改良集団が行う飼養管理技術向上のための情報収集・指導等に対し助成する。

限度数量は
平成18年度
203万トン

加工原料乳生産者補給金価格は
平成18年度
10.40円/kg

わが家の人気者

ダンスが大好きなかおるちゃん!!

PROFILE

田中 かおる(たなか かおる)ちゃん

2004年6月23日生 田中世一・貴子さん夫婦の次女として生まれる



今月の『わが家の人気者』は、
武佐地区、田中世一さん宅の次女・
かおるちゃんです。

取材にうかがうとママの貴子さんとご機嫌な様子で出て来てくれた、かおるちゃん。早速カメラを向けると、大好きなダンスを踊って見せてくれましたが、突然のことで、かわいらしいダンス姿を写真に収めることが出来ず、皆さんにお見せできなく残念です。

出産予定日ぴつたり、3、928gの大きさに生まれてきたかおるちゃん。祥太(しょうた)お兄ちゃんも4kg弱の大きさに生まれてきたので、ママの貴子さんにとつてはそんなに大変ではなかったそうです。

大きな病気もせず丈夫にすくすく育ってきたかおるちゃん。一番最初に発した言葉は、「ママ」で

はなく「パパ」で、その次は、「おじいちゃん・おばあちゃん」で、最後にやっと「ママ」だったと貴子ママは複雑な心境を話してくれました。

名前は、お姉ちゃんが『ひかる』なので、『かおる』。響きが良いという事と読めない名前が多い今だからこそ、ひらがなにこだわったそうです。

お兄ちゃん、お姉ちゃんとなんでも同じ事をしていられる時には、元氣いっぱい、力いっばいのかおるちゃんがいいところを当ててしまい、泣かせちゃうこともあるみたい。お菓子の時間は、両手に持って同じ数だけ、ちゃんと食べるのだとか。パパとお姉ちゃん達が、スノーモービルを乗りに出かける時も、『ちよつと怖い』ものの、興味を示したり、お姉ちゃん・お兄ちゃんが幼稚園に行く支度をしている時、かおるちゃんも一緒に行くこうと支度を開始。お姉ちゃんのおつなぎを、いつの間にか一人で手足を上手に通して、チャックも出来るようになったのだとか。支度が整った時の自然な姿には何とも言えない面白さが込み上げてくる。今年から1年生になるお姉ちゃんのランドセルも一番先

に背負ったのはかおるだったのと貴子ママ。

このように、自立心が強いのかおるちゃんは、いつも食事の時、一番先に席に着き、フォークやスプーンを自分で持って食べるから、姉弟の中では一番手が掛かりませんが、食べ終わった後の片付けは大変。こぼれてしまった分は、愛犬のペティが食べてくれる仕組みになっているそうです。

パパ・ママが作業で忙しい時期は、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に。ご飯も一緒に食べるおかげで、じゃがいもを始め、野菜はなんでも好き! 魚も好きとかおるちゃん。

「お姉ちゃんは入院した事もあるけど、とにかく健康に育ってくれればいい。ここの穏やかな環境の中で育っていくのだから、穏やかに優しい子になってくれるでしょう」。早く大きくなって話しかけたい相手になって欲しいなあ」と貴子ママが想いを話してくれました。



青年部の年度行事の締めくくりである各委員会、部会の反省会が開かれ、1年間の本部活動の反省や次年度に向けての抱負など、活発な意見交換が開かれました。

組織強化委員会（鈴木智之委員長）では、3月17日に北のラーメン屋「破天荒」さんで開催。PR委員会（林直樹委員長）でも3月31日に牛乳の消費拡大も目的に同店で開き、リニューアルしたこのお店の破天荒ラーメン（通称はてん）を多くの部員が注文しました。

ご存知の方も多いと思いますが、同店の「破天荒ラーメン」は、改装後のプレオープン時に桜井寿治部員と事務局が食べに行つて、「うちの牛乳（中標津牛乳）を使って欲しい」と外販かけたもの。1杯あたり、200mlの牛

反省会で牛乳消費を語る



乳と中標津ゴータチズ、バターなど、生乳換算で1ℓほどの消費拡大につながります。お味の方は食通揃いの青年部の中でも「ラーメンのスープのベースに牛乳ねえ、想像よりも食べやすく、くどくない」と驚きの声。

地場産のものへの店主さんのこだわりもあり、青年部でも食べたことのない方がいらつしやいました。是非食べに行つて、友人知人へもPRしてもらい、お互いに良い状況へ持つていけたらと考えています。



北のラーメン屋「破天荒」は、夜12時まで営業。ラーメンだけでなく居酒屋的メニューも豊富。破天荒ラーメン1,000円など。

道内各地の盟友ととも

JA青年大学

平成18年1月30日から2月1日まで開かれたJA青年大学についてご報告いたします。当青年部からの参加者は私と中本副部長、ほかに全道からは24人が江別市のJAカレッジに集まりました。

初日の講演は、「JA青年部の在り方」
「今昔」北海道青年部協議会会長平和男氏、「新たな農業政策に対応する経営能力」(JA北海道中央会 家の光専任指導員 船本 末雄氏)。その後、夕食を兼ねたオリエンテーションが行われ、各単組の青年部員との交流が深められました。

二日目は、PCを使った研究協議「手ごたえのある人生を再発見し、家族で夢を共有しよう」の後、講演として「協同組合理論とJAの役割」(JAカレッジ研修科 専任講師 大田勝美氏)。グループ討議が行われました。

三日目の講演は、「魅力あるJA青年部」(JA北海道青年部協議会 副会長 杉山 博樹氏)の後、閉



講式で長いようであつたという間の3日間となりました。

青年大学への参加は初めてでしたが、自分が特に興味を持って受けた講義は、二日目の研究協議「ファーム&ライフプラン」の時間でした。

架空の酪農家を元に、その農家の10年後までの人生と農業設計をしていくという授業でした。また、架空の農家だけでなく自分の家のデータを使って、自分の10年後を作る事が出来ます。参加者たちは皆思い思いの未来を作り、授業の終わりに、参加者が作った未来を発表していました。超大型酪農家になって大成功な未来だけではなく、数年で経営破綻したり、自分のデータを元に赤字ばかりでイヤになったなどなど。中々楽しく講義を受ける事ができました。

パソコンのエクセル表形式で設計できるこのプランは今後自分の経営に活かしていくとともに、青年部のパソコンを使った勉強会にも紹介させていただきたいと思っております。

今回、農協と農協青年部の好意で青年大学に参加して農協と青年部の関係や青年部組織の意義を再認識するとともに、地元にいるだけでは知ることが出来ない他の青年部との交流などが出来ました。この体験を通じて自分の将来の経営について学ぶ事ができました。

また、機会があれば参加したいと思いますが、毎年、多くの部員に参加して欲しいとも思いました。(IT委員長・当幌支部長 鈴木 祥嗣)

熟年会九州・種子島・屋久島旅行記

田中 マツノ

根室中標津空港発着チャ

「ター便で行く」あつたか九州・屋久島・種子島4日間の旅」3月1日～4日（3泊4日）にJ A中標津熟年会41人が参加しました。

1日目

山本正秋氏を団長に鹿児島空港に向かって出発、2時間50分、チャーター便での空の旅は、話の花が咲き時間を感じさせなく空港に着きました。すぐバスに乗り換えて焼酎工場へ向かい、途中西郷隆盛の銅像が私達を歓迎してくれました。

巨大な瓶が見えるとそこが焼酎工場、見学コースでは、多くの種類の焼酎を見ながら試飲。心地良くなつた所で霧島へ向かい、霧島神社にある樹齢800年の招霊(おがたま)の木を見学しました。1円硬貨の裏に刻まれている樹木だそうです。この日は、霧島温泉で疲れを取りました。

2日目

ホテルを出ると雪がちらちら降っており、寒さが身にしみ、北海道と変わらぬ天気に出会いました。鹿児島港からフェリーで2時間50分、高波で船が揺れ、立つてられない状況でしたが、なんとか屋久島・安房港に着きました。

屋久島は、世界自然遺産に登録されており、90%が山で屋久杉の原生林とわわれています。昼食後は、屋久杉自然館を見学。パノラマ館では、江戸時代からの屋久杉の利用や歴史を垣間見ました。毛利衛さんが宇宙へ種を持っていき、持ち帰った杉を宇宙杉として植えられていました。

標高1、230メートルまでバスで辿り着くと樹齢3、000年の紀元杉を見ることができ、厳しい自然条件でも生き抜いた力強さを感じました。

屋久島での泊まりは、ご

馳走を食しながらカラオケ・ダンスを楽しみ過ごしました。

3日目

種子島に高速船で移動し、昼食の後には、バスで期待の宇宙センターへ、ロケット打ち上げ建物が見えてくると限らない宇宙へのロマンと文明を感じました。

宇宙科学技術館の見学では、日本初の静止衛星「きく2号」の実物が展示されており、技術の素晴らしさを知りました。鉄砲館では、世界中の古い鉄砲が数多く展示されていました。

見学を終えて高速船で指宿(いぶすき)港へ戻り、温泉宿に到着した時には、既に真っ暗、ホテルが大きく迷路の様であったため、砂風呂に入れなかつたことが少し、心残りです。

4日目

最終日、朝から快晴。さ

すが南九州、今日はとても暖かい、青空にそびえ立つ開聞岳(かいもん)はとても素晴らしい眺めでした。また、バスの車窓から見る梅、桃、菜の花が綺麗に咲いているのを見て、南国を感じました。

知覧町へ移動し、知覧武家屋敷を見学、薩摩の小京都と言われるだけあって、石垣と生垣の景観が、国の重要伝統建造物保存地区として位置付けられているそうです。

知覧特攻平和会館では、沖縄決戦で肉弾となつて散つた若い隊員の遺影・遺品などが展示され、「お母さんと」叫んで死んでいった話を聞き、無念さを感じ胸が熱くなりました。

午後2時、数々の思い出を胸に鹿児島空港を出発、全員元気に中標津空港に帰りました。





チーズの食味を味わいながら、工場の説明を受ける小林さん

1987年に設立された当初は、農業（羊、牛と穀物を生産）を行いつつながらチーズを生産していましたが、農場を売却し、チーズ工場に専念しています。
原料乳は、操業当時よりNZ最大の乳業メーカー・フオンテラから購入しています。



ニュージーランド

酪農研修報告

11/22 (火)

小林、眞野による報告

1、ホワイトストーン・チーズ工場

現在は、日量約7千t生乳を入荷し、1週間で4tのチーズを生産しています。原料乳のうち、25%は有機ミルクを買っています。
ミルクを72で15分殺菌し、34から徐々に温度を上げ菌を投入します。

GOAT（やぎミルク）、SHEEP（羊ミルク）など



オーガニック認証のチーズはプレミアム分高い設定で販売しています。



ホワイトチーズ工場では15種類ものチーズを販売。グラムいくらの測り売り。

チーズ、ミルクの特徴を生かした商品作りで、ソフトチーズのセミソフトタイプの4つ、ブルーチーズ2つ、フェタチーズなど15品目を製造。生産された約85%が国内消費、残り15%はアメリカ、香港、オーストラリア、シンガポールに輸出されています。
店内には、数々のプレートが飾られ、数々のコンテストに入賞・受賞していることがわかりましたし、特に同社が得意とするブルーチーズは、私たちにとって驚きと感動を与えてくれました。



ホワイト氏の話をも熱心にメモする後方にある木製の円盤のようなものや切り株みたいなものは骨董品ではなく、数々のチーズで獲得した楯です。

2、ブライアン・クリアウォーター農場

ブライアンさんはシエアミルカーとして6年間農場で働き、毎月の収入の20%を常に土地を買うために貯めて、その間、その農場の200頭の牛を600頭に増頭して、その農場に売ってこの土地で酪農を開始しました。
オーナーとなり5年になります。が、当時渇水施設がなく、3年前に購入。育成牛のために、40エー



ロータリーパーラーで搾乳体験もしました。乳房を拭かないで付ける感覚は確かに楽ですが違和感が…。防疫上完全防護服です。

カーの農地を借りています。

ジャージー牛とフリージアンのコロスを230頭、5月からの冬は60頭搾るように種付け時期を調整しています。1日20^{kg}/頭、1・1kgの固形を生産していることになるそうです。

昨年は、800kg/1haの固形分、NZの優良な農家はこの2倍の生産をしているとのこと。販売はフォンテラにしており、有機農法での10%のプレミアを受けています。春には20%になる予定です。

プレミアムを受けるには、自然のものを使うのが基本で、有機コンポストを使用します。コンポスト研究の権威で、米国在住のイレイン・グアムという微生物学者から直接アドバイスを受けています。これからは、コンポストを水



中古コンテナを改造してあるヨーグルト工場。搾乳パーラーと10mも離れてません。

状のコンポステイヤーとして生産するように指導を受けています。

コンポストは、夏期間は3カ月ほどで出来るようですが、冬は寒くて無理とのこと。北海道と同じといえます。

ミルクに付加価値をつけるため、食品技術師との共同出資でヨーグルト製造の別会社を併設。厳密な衛生基準があるのでとのことですが、高圧状態のコンテナをあけて見せてくれました。ホモゲナイザーとパスチャライザーはメルボルンで中古品として購入したもので、日本製でした。将来的には、あと1000リットル/日処理できる能力まで拡張できるようにしてあるとのこと。20〜50リットル/週に売れているだけなので、1日に1000リットル販売す



販売網を広げるために認めてもらう小売業者を探しています。同じくオーガニックをウリにしているイーアンさんにも誰か紹介してと売り込んでいました

るような体制に、マーケットに乗せてくれる小売業者を切望していました。現在は、ティマルにある有機農協だけが大口の顧客。品質的には問題がないのですが、セパ

11/23 (水)

乾、高橋による報告

1、コントラクター

このコントラクターで使用されている自走式ハーベスターは、25万〜40万NZ\$であるとのこと。運搬用のトラックは、8t車であり予想よりも小さかったものの、あたりがとて高く、多く積みめそうな印象でした。

このコントラクター会社が所持・使用している機械の合計金額は100万NZ\$とのこと。

視察先のこの現場を依頼した育成専門農家は、1千500〜2千頭の育成牛預託を常時請け負っているとのこと。

仕事のやり方は日本と特に変わりありませんでしたが、トラクターで行う鎮圧作業がとて甘く、あまり良いサイレージは出来ないだろうと感じました。日本では苦情が出る可能性が大きく、放牧が中心のため、サイレージ作りには、おおらかなのかなあと...

レーターがないので、ヨーグルトの上に乳清が乗っているのが見栄え的に悪いと問題を抱えています。



トラクターで鎮圧中の草は見た感じふかふかで大丈夫なの〜と心配になります。

2、POWER FARM ing・中古農機具会社

様々なメーカーの機具があり、日本でも売っている農機具がたくさんありました。トラクターは、120馬力程度のものが主流で、売り手が多く競争が激しいため、安くしないと売れないとのこと。

日本にもある中古農機具会社とさほど変わらないが、出張修理を



中古農機具店では、日本製=小型機械という認識で、大型化が進む南島酪農ではシェアが少ないとのことでした

する範囲や商圏が250 km以上と広く驚きました。

3、COOL STORE

(冷凍・冷蔵会社)

チーズ、バターともにフォントラのもの扱っている冷凍・冷蔵の倉庫会社といえます。

チーズは、商品により、-20℃で保存し、熟成を管理する。チーズの搬入・搬出管理は、5人で行っていました。

パレットにチーズの箱を載せており、1つのパレットは800 kgになり、フォークリフトを使用する。

8〜10ヶ月の間出荷を持つことが多く、冷蔵庫で保存する。

チーズは、99%が輸出用で、主な輸出先は、オーストラリア・メ



中央の赤いプレートみたいなものがロボット。これが奥まで続くパレットラックを上下前後左右に動き、荷さばきします。

フォークリフト幅と変わらないほどの狭い場所へ、13メートルも頭上に800 kgのパレットを持ち上げながら移動。怖い。



キシコ・日本など。特にオーストラリアへの輸出が多く、輸出の90%を占める。
一方バターの管理は、3人で行っている。バターは「-24℃」で保存。バターもパレットに載せており、1つのパレットは、1・4 tになる。

バターの主な輸出先は、ロシアのジョージア。無塩バターは、年間1千tが日本へも輸出されている。

る。冷蔵庫の中では、パレットを運ぶロボットがあり、精度の高い仕事を行っていて驚いたが、人がパレットをフォークリフトで13メートルもの高さに積み上げる技術にも驚きました。

4 農機具販売店

主流は90〜125馬力のトラクター、この店で一番大きなトラクターの値段は、本体価格11万NZ\$で、ローダーの価格が1万7千NZ\$とのことでした。価格は日本よりも安いことになりましたが、全体的な物価から見ると、変わりがないと感じました。



日本円で換算し、計算すると安いトラクターですが、運賃・メンテナンスまで入れると変わらないのでNZからの直輸入のうま味はないと言います。

5 デビット ロビンソン農場

この農場経営者は3人いて、株式経営をしています。土地をもともと持っていた人やシェアミルク時代には乳牛を持っていた人などで構成されているため初期投資が抑えられた経営になっていると話していました。パーラーは60万NZ\$で建てられた3年目の施設です。



ロータリーパーラー内で、ユニット数などの説明をするロビンソン氏

60頭では2人で忙しく、80頭では3人必要なため、54頭のロータリーパーラーを選択。1人がユニットを牛につけ、1人がはさず。草地は226 ha。780 mのイリゲーションで灌水している。搾乳牛は牧区から1・5 km〜4・5 km歩いてパーラーまで集まってくる。午後2時、クラシック音楽を聞かせながら搾乳開始。経産牛は8



写真はロールチューブ

00頭を2時間で搾乳し終わり、健全な牛と、治療牛を分けて搾乳（タンクが2種類ある）治療牛を搾乳した後、ミルカーを洗浄する。治療牛は、隔離している。

1日2万 kl の生乳を生産。年間全固形で30万 kg 、乳量にして600万 kl 搾っている。

交配時の掛け合わせ方は、見た目が違うため、ホルスタイン種の特徴が強く出たらジャージー種を、ジャージー種の特徴が強く出たらホルスタイン種をクロスさせるといったように、けっこう視覚にたよっていると話していました。

また、配合飼料は与えていない為、乳房炎などの病気は少ないが、放牧地からパーラーが遠いため、脚の故障が多いとのこと。

濃厚飼料をほとんど与えないため、飲み水にミネラル等を混ぜていました。

6 獣医

NZの獣医は、獣医としてだけでなく、薬や添加物などの販売もする。獣医業だけでは生活が出来ないらしいので販売店舗を持っている。

診療している家畜は、乳牛、肉牛、馬、鹿、羊など、酪農業の診療を専門にしている獣医は4人。



動物診療所及び店舗の説明をするジム・オツール氏。削蹄の仕事も獣医が行います。

薬品や添加物は、日本と同じで普通に買えるものと獣医の許可が必要なものがある。抗生剤（乳房炎軟膏）は、獣医の許可が必要。

1日に平均4〜5件の酪農家の診療に行く。NZの南島は、大規模経営の酪農家が多く、1農場あたりの治療牛の頭数も多く、また酪農家間の距離がとて離れているため、それ以上の件数を診療す

るのは困難であるようです。

また、獣医は診療をするだけでなく、アドバイザーも兼ね、アドバイザーとは、経営アドバイザーとしてではなく、例えばケトージスの治し方や予防法をアドバイスし、報酬を得るような形式。アドバイザーとしての仕事の内容には、日本と言う普及員の業務も兼ねており、餌のアドバイスや、畑の栄養値の測定も行っています。

NZは、完全放牧が主体で、牛

の歩く距離が長く、搾乳までに待機するパドックがコンクリート製のため蹄病を問題視する農場が多い。治療よりも、予防に重点を置いていること。治療は、特にひどくない限りは、酪農家に任せていること。大規模経営が多いNZは、獣医も忙しいはずだった。想像ほどではなかったこと。改めて、日常からの予防の重要さを実感した。

最後に、旅を終えて

私たちが今回海外研修で体験した多くのことはとても新鮮で刺激的でした。規模の大きさや経営の方法論が違っていても、外から日本を見直すという視点で海外の良さと日本の良さも再認識する機会となりました。

滞在先のイアンファミリーのもとへはとても感動し、イロイロな場所に案内してくれて、彼らの作ってくれたオーガニック野菜をふんだんに使った料理の美味しさにまた、感動を覚えました。

NZの農家さんの暮らしに目撃すると、日本とは違って家族経営の農家や息子がそのまま経営を継承することも少なく、妻は自分の仕事を外に持つことが多い。やりたい人間が親から買うことや理想の農場を買う形式で、それを育てる土壌が国家レベルで整理されている。その分、自立心もありライフワークとして生き生きとした生活感が伺えたのだなあと思いました。これからも常にアンテナを張り、世界情勢にも多少耳を傾けながらそれぞれが自分らしい酪農経営を目指して進んでいきたいと思えます。JA中標津担い手創出協議会並びに皆様のご厚志とご理解、ご協力に感謝しつつ私たちからの研修報告とさせていただきます。まことに有難うございました。

参加者 一同

「草地管理から行う生産コスト低減対策」

4月より本格的に生産調整が実施され、所得を確保するため各部門においてコスト削減が求められます。コスト削減は何も新しいことを始めなければ、ということはありません。いままでの基本技術をきちんと行うことでコスト削減を図ることが可能です。

牧草の生育状況に合わせた施肥作業を行い、かつ収穫までの期間を適切に確保し、最も栄養価の高い時期に収穫し、良質な粗飼料を確保する。当たり前のことかもしれませんが、このことが最もコスト削減につながる対策ではないでしょうか。



牧草の萌芽に合わせた施肥の実施

早期の散布により、収穫までの期間を確保。硝酸態窒素等の影響をできる限り少なく。

繁殖成績の向上、疾病の減少!!

乳量 1 kgあたりの生産コストの削減!!

1 今年の積雪と土壤凍結状況

今年は昨年と同様、土壤凍結は10cm前後で、平年比で約 1 / 3の深さです。積雪も平年より少ないため、融雪日も早まると考えられます。

表1 近年の融雪期と萌芽期（北根室支所調べ）

	H17	H16	H15	H17
融雪期	4 / 18	4 / 19	4 / 9	4 / 10
萌芽期	5 / 4	5 / 7	4 / 24	4 / 27

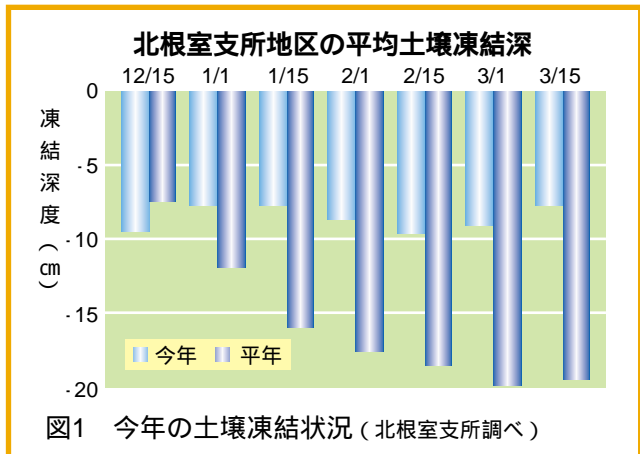


図1 今年の土壤凍結状況（北根室支所調べ）

2 施肥のタイミング

早春の施肥時期は萌芽期の施肥が最も収量が多くなります。遅れば遅れるほど、収量が減少する傾向が見られます（図2）。

最近の萌芽期は表1のとおりです。雪解け後、トラクターが草地に入れるようになれば、速やかに肥料散布ができるよう、準備しましょう。

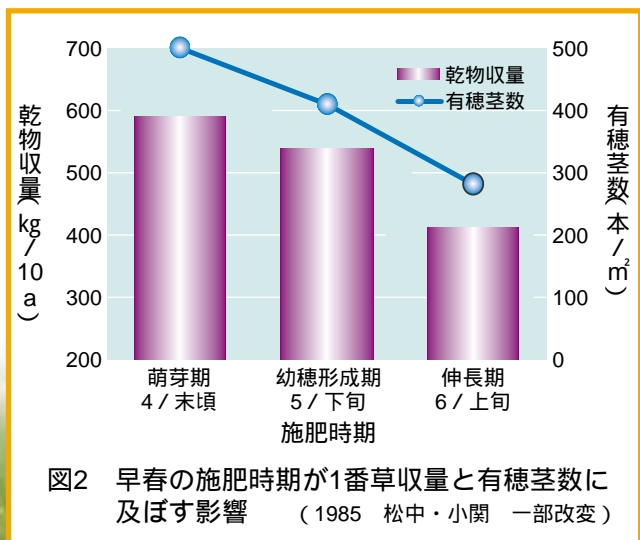


図2 早春の施肥時期が1番草収量と有穂茎数に及ぼす影響（1985 松中・小関 一部改変）

4月1日付けで準職員として採用されたフレッシュユナな新人を紹介いたします。皆様、ご来組の際には声をかけていただき、今後とも宜しくお願いたします。

営農部
家畜改良課家畜改良係



友 貞 直
(ともさだすなお)

この度、家畜改良係に配属となりました友貞直と申します。中標津高校商業科出身です。新卒ではないのですが、新たな気持ちで頑張っていこうと思っております。昨年人工授精の免許を取得し、まだ一年目ですが、早く組合員と職員の皆様の顔を覚えて、少しでも早く一人前になれるように努力していきます。皆様には色々とお迷惑をかけてしまうと思いますが、一生懸命頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

管理部
管理電算課 管理電算係



林 くるみ
(はやしくるみ)

中標津高校普通科卒業の林くるみです。まだ、仕事は始まったばかりでわからないことだらけですが、職員の皆さんや、組合員の皆さんが優しく接してくださって、毎日楽しく仕事をさせていただいております。

少し人見知りなところもありますが、毎日笑顔で頑張っています。これから一日でも早く仕事を覚え、農協職員として組合員の皆さんのお役に立ちたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

管理部
管理電算課 管理電算係



池 田 有 季
(いけだ ゆき)

今年の3月に中標津高校事務情報科を卒業した池田有季です。この春からお世話になります。趣味は高校時代の部活バドミントンです。

今はまだわからないことがたくさんあり、仕事を覚えることに精一杯ですが、一日でも早く仕事に慣れ、皆さんのお役に立てられるように頑張りたいと思っております。何かとお迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、これからどうぞ宜しくお願いいたします。

退職職員



坂田 茂夫

3月31日付で退職された職員を紹介いたします。

長い間ご苦労さまでした。
購買部 営農資材課
給油所係 主任 坂田茂夫
購買部 営農資材課
生産資材係 岩崎直美

第11回 理事会

開催月日 / 平成18年3月30日

開催場所 / 農協中会議室

- 決議事項**
- 1 平成17年度12月未定例自治監査報告書について
 - 2 JA全国監査機構監査報告書に対する回答について
 - 3 平成17年度収支決算の見込みについて
 - 4 職員の期末手当について
 - 5 信用事業規程の改正について
 - 6 与信取引に関する利用者への説明態勢に係る規則の一部改正について
 - 7 職員就業規則の改正及び定年退職者再雇用規程等の制定について
 - 8 経理規程の改正について
 - 9 L A c t i v e 運営管理要領(例)の廃止及びL A c t i v e 運営管理要領の設定について
 - 10 不祥事対応要領の改正について
 - 11 役員報酬審議会委員の選任について
 - 12 平成18年度各部の事業計画骨子(案)について
 - 13 平成18年度各種利用料金の設定について
 - 14 平成18年度購買及び店舗手数料の設定について
 - 15 平成18年度収支予算計画について
 - 16 各種資金の借入について
 - 17 休農者の精算見込みと利息軽減について
 - 18 プロットコーリ播種機の導入(固定資産取得)について
 - 19 畜産販売課車輜リース契約について
 - 20 次期生乳安定生産対策と離農枠の配分方法について
 - 21 給油所車両リース契約更新について
 - 22 業務用車両のリース契約更新について
- 報告事項**
- 1 平成17年度の出資増口と組合員の加入状況について
 - 2 内部審査の実施結果について
 - 3 平成18年度納税猶予に係る債務保証について
 - 4 平成17年度各種補助事業の精算について
 - 5 平成17年度農業所得税、消費税の申告状況について
 - 6 酪農ヘルパー稼働状況について
 - 7 農業農村交流施設稼働状況について
 - 8 平成18年度産てん菜基準糖量の配分について
 - 9 家畜伝染病淘汰互助会制度の適用について
 - 10 購買未収金、高額長期延滞者の回収方策について
 - 11 棚卸監査の日程について

上村 重光氏、西崎 敬造氏が 北海道指導農業士の称号を受けました

2月16日札幌全日空ホテルにて北海道指導農業士・農業士称号贈呈式が行われ、侯落地区の上村重光氏と俵橋地区の西崎敬造氏が北海道指導農業士の称号を北海道指導農業士協会から贈呈されました。

上村重光氏は、中標津町農協理事を5期15年、平成2年からは営農委員長を務め、さらに中標津町農協ヘルパー利用組合長も務めています。営農委員長として、農協役員一体となった営農指導を行い、組合員の生産意欲向上に貢献していること。また、中標津町農協実習生受入協議会からの学生を積極的に受け入れており、ことなどにより称号贈呈となりました。

西崎敬造氏は、農協組織で主に畑作関係組織において畑作対策協議会委員、馬鈴薯振興対策協議会副会長、生食販売委員、澱粉工場馬鈴薯対策協議会委員、原種農場運営協議会委員などの役職を長年にわたり務め、地域の馬鈴薯生産振興を図ってきたことやグリーンク

ラブ会長時代には大根・ブロッコリーなどの野菜を地域へ積極的に導入することなどに関わり、産地形成に貢献していることから称号贈呈となりました。

北海道指導農業士は、全道に507人、根室管内に25人となり、全国・全道のネットワークを活用し、担い手の育成、魅力ある農業・農村づくりに貢献する組織として、上村氏と西崎氏には積極的な意欲と能力を有する次代の農業の担い手の育成指導や地域農業の振興などに対する助言、協力を行う優れた農業者と認定され、今回の称号を受けました。



みんなの 掲示板

イベント、公募、売り買いのリサイクル情報など、組合員の便利な掲示板として、皆さまからの情報提供もお待ちしております。

72-3721

コピーさっぽろ 第3回農業賞募集

北海道の「職の安全」と「持続的な農業」の発展を願い、消費者の立場から志ある北海道の生産者にエールをおくることを目的に創設されたコピーさっぽろ農業賞の第3回目、農業大賞募集が始まっています。

応募の資格は、道内在住で農業を営む農業者個人あるいは企業団体で情報開示できる栽培・飼育履歴また

は加工方法及び内容を備えていること。自薦他薦、コピーさっぽろとの取引の有無は問いません。

賞は北海道知事賞・大賞ほか。応募用紙に必要事項を記入し5月31日まで左記の送り先・問い合わせ先へ。

経営企画課では応募作業のお手伝いもいたしますので、ご相談下さい。

なお、消費者との交流活動的な応募は5月1日から新設の農業・漁業交流賞の交流の部で募集開始予定となっております。



〒063 8501
札幌市西区寒川11条5丁目10番1号
「コピーさっぽろ農業賞」
実行委員会事務局
TEL 011 671 5602
FAX 011 671 5730
e-mail: nougyosho@coop-sapporo.or.jp
関連HP URL
http://www.coop-sapporo.or.jp/

ミルク&チーズ フェア開催

3/18~19

根室地区酪農対策協議会とホクレンが主催した地元のみルク&チーズフェアが3月18、19日にAコープ中標津店あ
るで開かれました。

牛乳の消費低迷を打開すべく行われたイベントで地元（地区酪対なので根室管内）の生産者が作る手づくりチーズなどの乳製品や中標津牛乳などを買い求めるお客さんで賑わいました。



食品加工交流部会 「製パン伝達研修会」 が行われました

3/25~30

3月25日、30日、農業農村交流施設にて、食品加工交流部会「製パン伝達研修会」が行われ、総勢12人が参加しました。



この研修会は、以前、乳製品需要拡大と知識・技術向上を目的として、札幌の木田製粉・加藤先生をお招きし開催した『製パン講習会』の復習を兼ね、参加できなかった方には伝達するために開いた研修会です。

参加した部員同士で、こね上げ温度や生地の状態・焼き時間・温度など、一連の作業における注意点などを確認しました。

また、普段とは違ったメンバーでの作業となり、部員間の交流・情報交換の場ともなりました。2日間での得た事を今後の活動に活かし、更に部会活動が活発になることを期待しています。

今後このような研修会を企画して参りますので、より多くの方の参加をお待ちしております。

知ってJJA

なかしべつビーフ編

3月24日、依橋の肉牛生産センターで、役員による肥育肉牛の棚卸計量が行われました。

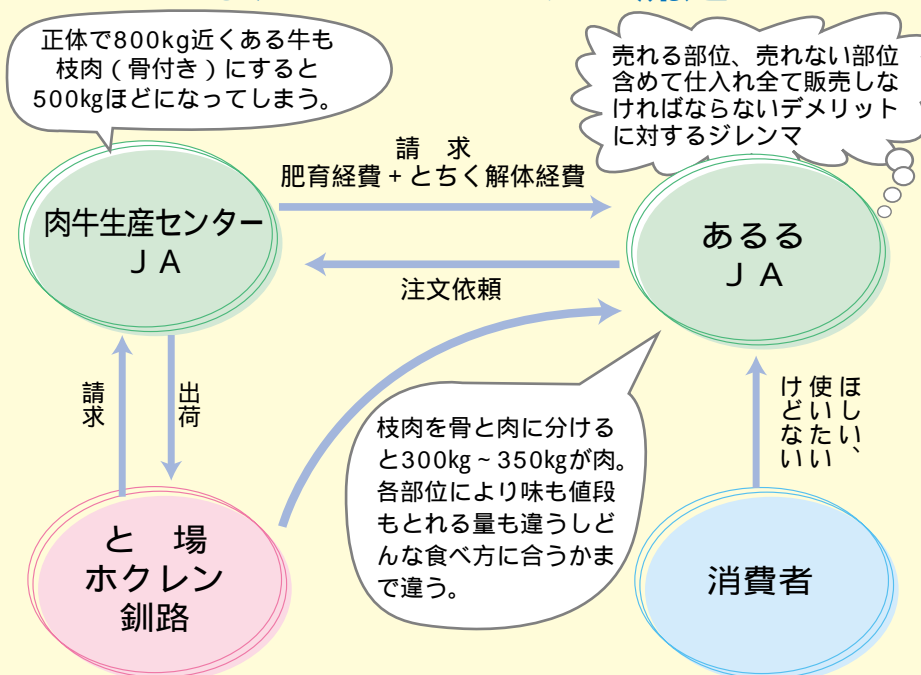
地産地消という消費者志向が近年、さらに強まりをみせていますが、当農協の肉牛生産センターで肥育されている肉牛をいつでもAコープ中標津店にある『で買える状況にはなっていない。』

国内食肉自体の流通体制や、当農協の『なかしべつビーフ』が下図の理由などから消費拡大に大きな力を向けられにくいからです。

この流通体制を調整することでお客さんに対していつでも提供できるように



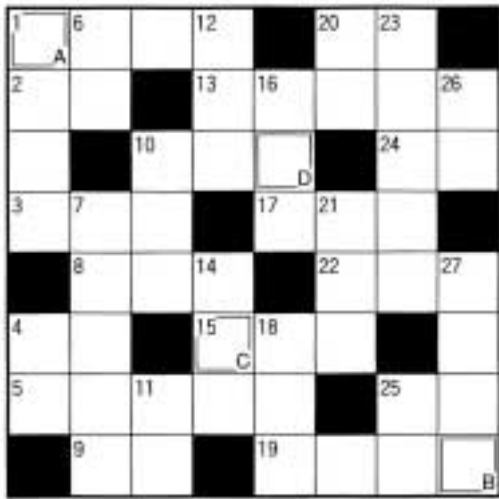
なかしべつビーフの流通



なにかしませんが、安定的な販路拡大 ユーザーに対する美味しい食べ方の啓蒙活動が重要な要素となります。産地が近くて安心・安全であるこ

とは間違いなく、消費も増えたら消費者が求めるように、しだいに安くしてゆけるかもしれません。生産部では今後ともJJA夏まつりなど各種イベントで安く供給していきたいと話しています。みなさんで考えていきましょう。

クロスワード



二重マスの文字を、A～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

3月号クロスワードの解答

2重マスの文字を並び替えてできる言葉は？

『ソツギョウシキ』でした。

ご応募いただいたのは9人の方で9人も正解です。

池田清和生活部長による厳正なる抽選の結果、萩原裕巳さん（第2俣落）、北村美保さん（第2俣落）、後藤田ゆかりさん（開陽）が当選いたしました。

おめでとうございます。



同封の回答用紙に答えや一言コメントなどを記入の上、事務所備え付けの箱または、ファクスでご応募下さい。

タテノカギ

- 1 入浴のとき、ここで体をゴシゴシと
- 4 眠る場所
- 6 サラリー カメラ
- 7 4月は のシーズン 新たな学校生活の始まりです
- 10 これは の人物で実在しません
- 11 ぐるぐる回して諦めます
- 12 川遊びに使われる 船
- 14 重さの単位
- 16 桜が咲いたらやりましょう
- 18 不明 消費者
- 20 読書好きの人はたくさん持っています
- 21 と妻
- 23 雲がありますが、どんよりという感じではありません
- 25 ヒレは高級中華料理の食材です
- 26 を天に任せてみましょう
- 27 十番 真剣

ヨコノカギ

- 1 花祭りでおしゃか様の像にかけます
- 2 島原の 大塩平八郎の
- 3 桜肉ともいわれます
- 4 展望 エッフェル
- 5 金蔵を建てた、と歌われる虫
- 8 児童公園には滑り台やジャングルジムなどのあります
- 9 スピード 宝 あみだ
- 10 武士が腰に差していました
- 13 の賛成が得られたので、本案は可決されました
- 15 外野手はレフト・センター・
- 17 赤ちゃんがおなかにいます
- 19 木を切り倒したあとに残ります
- 20 の裁きを受ける
- 22 魚を狙ってさおを握る人
- 24 この作品は を抜いた出来です
- 25 中身が出ないように、袋に しておいて

読者の声

毎回楽しみにしています。ふだん使わない頭脳を発揮するチャンス!!
子供と一緒に奮とうしています!!
小出公子さん（俣落）
いつも広報誌楽しく読ませてもらってます。作るのは大変だろうけど、頑張ってください。

後藤田ゆかりさん（開陽）



もつと背が高く
なりたいたい

牛乳に相談だ。
gyunyu.com

行事予定表

2006年3月 組合動静

- 1(水) 農業所得税・消費税申告作業~11日
- 2(木) 町議との懇談会
- 7(火) キャッシュフロー研修会~8日
- 10(金) 女性部第5回三役会議決算監査
- 13(月) 地区別懇談会(開陽・中標津・武佐)
- 14(火) 地区別懇談会(当幌・俣橋)
女性部第5回役員会議
てん菜役員会
- 16(木) 融資協議
ブロッコリー部会打合せ
- 17(金) 地区別懇談会(第二侯落・西竹・俣落)
- 18(土) 融資協議
- 20(月) 第8回営農委員会
- 22(水) 酪農ヘルパー利用組合 役員会
中標津地区集落委員会
青年部役員会
- 23(木) 第53回女性部通常総会
- 24(金) 肉牛センター棚卸計量
- 25(土) 農協酪対役員会
第7回生産委員会
- 28(火) 中標津乳牛改良同志会勉強会
第5回管理購買委員会
- 29(水) 農協総合共進会代表者会議
- 30(木) 第11回理事会
- 31(金) 棚卸監査

2006年4月

- 1(土) 青年部 年度末監査
- 3(月) 女性部 三役会
管内監事協議会総会(別海)
- 4(火) 管内監事会春期研修会
青年部全道総会~5日
- 5(水) 役員報酬審議会、棚卸精査
中標津機械利用組合総会
- 6(木) 新採用準職員研修~7日
- 7(金) 食品加工交流部会役員会
- 10(月) 青年部 役員会
熟年会 役員会
- 11(火) フレッシュミズの集い
- 12(水) 酪農ヘルパー利用組合監査
地区フレッシュミズ会議
- 13(木) 第1回生産委員会
女性部 役員会
- 14(金) 第1回 管理購買委員会
女性部 地区役員会
青年部 新旧役員会
- 17(月) 第1回 営農委員会
- 18(火) 青年部通常総会
- 19(水) 第1回 理事会
- 20(木) 酪農ヘルパー利用組合役員会
- 21(金) 食品加工交流部会 総会
- 24(月) 決算監査~28日
- 25(火) SSミーティング
- 26(水) 中古農機展示会~27日
- 28(金) 酪農ヘルパー利用組合総会
- 29(土) みどりの日
中標津B&Wショウ

農協前SSの営業時間が4月から8時30分~6時までになりましたので、ご周知いただけますようお願い申し上げます。

プレミアムプリン

Pudding

用意する材料

牛乳、卵、(牛乳対卵の割合は100mlに対して1個の計算で卵黄を足すとまるやかさが際立ちます)砂糖、オープン、銀紙、バット、プリン型、サラダ油 お好みにバニラエッセンス、はちみつ、ブランデー、ラム酒など

Recipe

カラメルづくり

銀紙を用意してサラダ油をぬっておきます。小さい鍋に砂糖と水を加え火にかけます。最初、グツグツ。しだいにプチプチの小さい泡。その泡が大きな泡になったら色が変わっていくサインで、泡が小さくなっていき黄色(きつね色)に。色が濃くなり煙が出てくるので火を止める。銀紙に少しずつ注ぐ。すぐ乾くので、プリンを形成するカップにカスタードを注ぐ前に入れます。



カスタード作り

前準備

卵、牛乳はあらかじめ冷蔵庫から出しておき、常温に近い状態にすると卵に熱い牛乳を注いだときのいやなカピカピ感がなくて良い。

牛乳に砂糖とお好みにバニラエッセンスを加え、暖めます。沸騰は絶対にさせないこと。60~80度の間がベストです。

卵と砂糖を混ぜます。卵は卵黄と卵白がありますが卵黄だけで作ると最近流行のプリュレタイプ(グジュツとした食感)に、卵白まで入れると、ツルツ・プリツとした食感のものになります。卵白をいれるとあわ立ちやすいですが、泡立たないように心を込めてゆっくり混ぜます。泡立つと滑らかになりません。混ぜ終わったら砂糖やグラニュー糖、お好みにハチミツを入れます。



で温めた牛乳を に混ぜ入れます。ここで味見とお好みにラム酒やブランデーを加えても良いです。その後、こします。生地の温度を確認し40~50くらいであれば、そのまま型に流します。冷たい場合は湯煎を張ったボールで温めます。

オープンに入れて焼きますが、バットに入れてお湯を注ぎ蓋をします。蒸し焼き状態を保つようにします。蒸し焼き状態にしないと表面が乾き、中までの熱をささぎるので中まで固まりません。オープンの温度は150~160度で30分~40分くらい。テレビの裏技番組では、土鍋に入れてオープンすると6分ほどで完成するとの裏技が公開されていたようなので、バットの代わりに土鍋で試してみても良いかと思います。



さまして、冷蔵庫に入れて完成。

の牛乳にいろいろなものを混ぜるとココナッツプリンや抹茶プリンなど、プリンとして簡単に応用できますヨ。

